

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

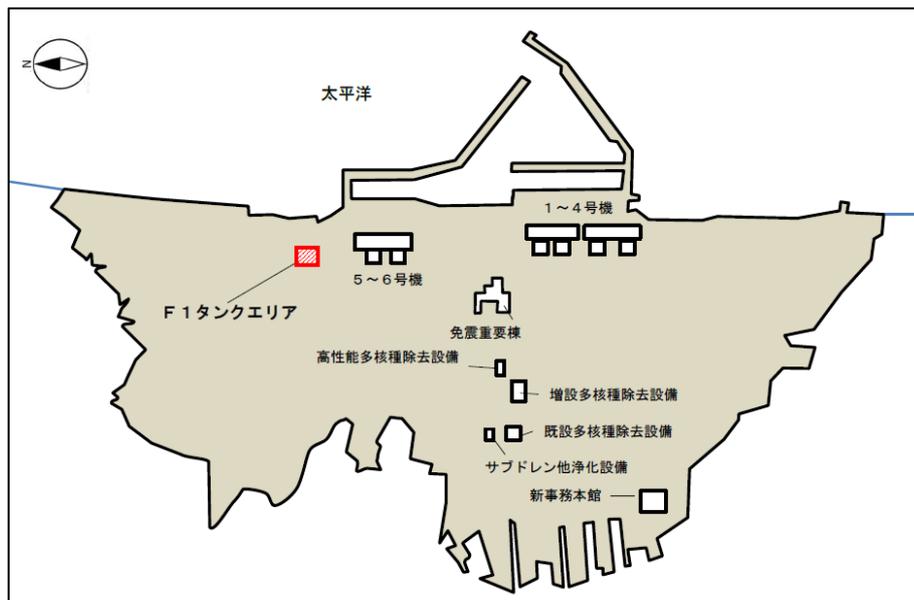
- 1 確認日  
令和2年7月13日（月）
- 2 確認箇所  
F1タンクエリア（5／6号機浄化ユニット）
- 3 確認項目  
5／6号機浄化ユニットの状況

### 4 確認結果の概要

5／6号機で発生する滞留水は、これまで淡水化装置（以下、「RO」という。）を用いて処理し、処理水を構内に散水していたが、RO膜の交換に伴うRO停止頻度が上がり、処理効率が低下してきていた。

そこで、東京電力は従来のROを用いた処理に加え、新たに浄化ユニットをF1タンクエリアに設置し、5／6号機滞留水の処理系統の多様化を図ることとしたことから、本日は当該浄化ユニットの状況を確認した。

- ・浄化ユニットは4基設置されており、全てハウス内に設置されていた。（写真1）
- ・浄化ユニットは堰内に設置されており、漏えい検知器が堰内に2箇所設置されていた。（写真2）
- ・浄化ユニットが設置されているハウス内及びハウス外の空間放射線量率は、ほぼ同様の値であった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
浄化ユニットA（手前側）及びC（奥側）が設置されているハウスの外観



(写真1-2)  
浄化ユニットB（手前側）及びD（奥側）が設置されているハウスの外観



(写真2-1)  
ハウス内（浄化ユニットB）の状況  
他の浄化ユニットも同様な構造であった



(写真2-2)  
漏えい検知器の設置状況の例



(写真3-1)

ハウス内（浄化ユニットB）の空間放射線量率

他のハウス内もほぼ同様の値であった



(写真3-2)

ハウス外の空間放射線量率

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。